



HYATT CENTRIC™
GINZA TOKYO

PRESS RELEASE

2025年12月5日（金）

ハイアットセントリック銀座東京

ハイアットセントリック銀座東京 新聞社の記憶が残る銀座に“新聞”と“文字”をテーマにした アートなクリスマスツリーが登場 現代美術家・足立篤史氏が手がけるクリスマスツリー「137_+1」 2025年12月5日（金）～12月25日（木）

銀座・並木通りに位置するモダンなブティックホテル「ハイアットセントリック銀座東京」（総支配人：内山渡教、所在地：東京都中央区銀座6-6-7）は、現代美術家の足立篤史氏が制作し、YUGEISHA GALLERYが監修する特別なクリスマスツリー「137_+1」を、2025年12月5日（金）～12月25日（木）の期間限定で4階のライブラリーラウンジに展示いたします。



137_+1

かつて新聞社が立ち並び、情報と文化が行き交っていた銀座・並木通り。その中に位置するハイアットセントリック銀座東京では、2025年のクリスマスシーズン、現代美術家・足立篤史氏の制作によるアートクリスマスツリー「137_+1」を展示いたします。

タイトルの「137」は、この地が新聞社の東京本社として最初の息づかいを得た1888年から現在までの年月を、「+1」はこれから迎える未来の一日を表現しています。作品にはホテル開業以降の新聞紙が用いられ、紙を丸棒状に束ねて立ち上がるフォルムは、かつて街で稼働していた輪転機のリズムや躍動を想起させます。ツリーを飾る銀の球体オーナメントは、紙面に刻まれた出来事や人々の記憶、その間を絶え間なく流れる時間を映し出す“鏡”としての役割を担います。

クリスマスツリーの足元に並ぶギフトボックスには、印刷工程で生まれる「損紙」と実際の新聞紙をアップサイクルしたものが混在しています。役目を終えるはずだった紙が“贈り物”として再び価値を宿す姿は、この季節ならではの温かな希望を象徴しています。さらに、ツリーのトップで輝く星は、ホテルが新たな一步を踏み出した瞬間を伝える紙面から制作されたもの。過去の記録が、未来への道標として光を放ちます。

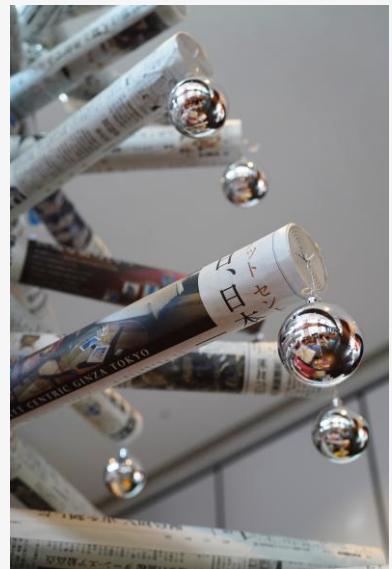
銀座という土地の歴史と、これから積み重なる未来が交差する「137_+1」。この冬だけの特別なアートツリーをハイアット セントリック 銀座 東京でお楽しみください。

■展示概要

期間：2025年12月5日（金）～12月25日（木）

場所：4階ライブラリーラウンジ

ツリー全高：約170cm



足立篤史氏プロフィール

1988年神奈川県生まれ。2014年東京造形大学美術学科彫刻専攻卒業、東京造形大学卒業研究・卒業制作展「ZOKEI賞」受賞。主な展示に、個展「記憶-Kioku-」(ニューヨーク、2014)、「第18回岡本太郎 現代芸術賞」(川崎、2015)、「都美セレクショングループ展 「紙神」」(東京、2016)、「TAMA VIVANT II 2017 -ポガティブ-」(東京、2017)、「Tanagokoro」(ロサンゼルス、2022)、「BankART U35 “REMEMBER”」(横浜、2022)、「第26回岡本太郎 現代芸術賞」、「特別賞」受賞」(川崎、2023)、「ブレイク前夜 in 金沢 秋元雄史セレクション」(金沢、2023)、「KAIKA TOKYO AWARD 2024」、「山峰潤也賞」受賞」(東京、2024)等。

この世に存在するあらゆる物には、その”モノ”が存在した時代、歴史、そして人々の生活や記憶が刻まれていると考えています。

人類は自分たちの知恵、経験、教訓、そして自分が存在した記憶を残すために言葉を産み出し、文字を発明し、本を作り、そして多くの人に広めるために印刷技術を発明し、紙も保存だけでなく、安価かつ大量生産できるよう進化させ、そして新聞として日々の情報を伝えています。

私は過去の記憶を、モチーフが存在した当時の資料（印刷媒体）をもとに、今まで形がなかったものを”実体化”させ、目に見えないものとして存在していただけの記憶を”記録”として残すことに意味があると考えています。

当時存在した物を表面に刻み付けることで、その時代の空気、リアリティを表現でき、ただの記録資料というだけでなく、その記憶の存在自体をリアルに感じることができ、その時代、出来事を考えるきっかけを作ることができると思っています。

そしてこれは未来へ向け記録を残していくのと同時に、過去の記憶を新たに垣間見ることができる瞬間であるのです。



ハイアット セントリック 銀座 東京について

「ハイアット セントリック 銀座 東京」は、銀座の街を縦横無尽に楽しむことができる東京・銀座の代表的な通りのひとつ・並木通りに位置します。世界を代表するラグジュアリーブランドやグルメ、数々の老舗店が集結。常に新しい文化を柔軟に受け入れつつ、伝統を大切にしてきた「銀座」。そんな「銀座らしさ」をユニークなカラーとデザインに落とし込んだ 164 室の客室は機能と快適性を兼ねた開放的な空間です。

3F フロアのオールデイダイニング NAMIKI667 は、斬新なインテリアと新しいメニューで、銀座の新たな食事体験をご提供します。又、バーエリアでは、常に変化する銀座の街を様々なカクテルとこだわりのバーメニューで彩ります。並木通りを望むテラスで、思い思いのひと時をお過ごしください。

新旧の文化が交差する「銀座」の新しい旅の拠点として、旅に関する優れたアンテナを持ち、常に旅先での新しい発見を追い求め、それを仲間とシェアすることに喜びを感じる“アクティブトラベラー”の限りない探検をサポートします。Facebook、Instagram、X で、@hyattcentricginza, @HyattCentricGNZ をフォローしてください。

■ホテル名 : ハイアット セントリック 銀座 東京 | Hyatt Centric Ginza Tokyo

総支配人：内山渡教（うちやまただのり）

■開業日 : 2018 年（平成 30 年）1 月 22 日（月）

■インテリア設計 : 株式会社ストリックランド 代表 赤尾洋平（あかおうようへい）

■所在地 : 東京都中央区銀座 6 丁目 6-7

■TEL : 代表 03-6837-1234

宿泊予約 03-6837-1313

■公式サイト : <http://hyattcentricginza.jp>

■延床面積 : 11,905.23 m²

■ホテル施設
客室数：164 の客室とスイートルーム 35 m²～127 m²

料飲施設：ダイニング、バー & ラウンジ 630 m²

会議施設：レストラン内個室プライベートダイニングルーム 86 m²

その他：フィットネスジム 80 m²

■フロア構成
1 階 エントランス
3 階 「NAMIKI667」
4 階 レセプション、ライブラリー、フィットネスジム
5～12 階 客室
地下 駐車場（機械式）

【アクセス】 東京メトロ銀座駅徒歩 3 分（日比谷線・丸の内線・銀座線）

JR 線有楽町駅徒歩 7 分（山手線、京浜東北線）

JR 線新橋駅徒歩 7 分（山手線、京浜東北線）

羽田空港まで車で約 30 分／成田空港まで車で約 80 分

ハイアット セントリックについて

常に抜群のロケーションに位置するハイアット セントリックはフルサービスのモダンなブティックホテルブランドです。さまざまな活動の中心にいたい旅慣れたお客様を、新しい発見に満ちた冒険の旅へ誘うために作られたホテルです。それぞれのホテルがロビーにお客様同士の交流の場を提供する一方、館内のバーやレストランは、地元で人気のホットスポットとして、愉快な会話、地元の味覚にインスピライアされたメニュー やシグネチャーカクテルが味わえます。客室は機能的で過不足ないコンテンポラリーな設えです。熱い心でおもてなしするスタッフが、地元の食やナイトライフなどホットな情報を揃えてお客様をお迎えします。詳しくは hyattcentric.com をご覧ください。 [Facebook](#)、[Instagram](#) で、@HyattCentric をフォローしてください。また、旅の思い出にハッシュタグ「#HyattCentric」を付けた写真の投稿もお待ちしています。